

信念を持った人に

榊原 彩智(中1)
(榊原幸宏さんのお孫さん)

冬でも日焼けした首筋、土のついたごつごつした手。いつも着ていた作業用ベスト。この本を読んだとき、祖父を思い出さずにはいられなかった。豊かな森をよみがえらせるため、何十年もかけて種を一粒ずつ土に埋めていった主人公のブフィエの姿が祖父の姿と重なった。

祖父は今年亡くなった。ガンが見つかったから一カ月余り。祖父は毎朝欠かさず近所の堤防に出かけていた。秋になると真っ赤な花を咲かせる彼岸花の手入れをするためだ。祖父の住んでいた半田市は「ごんぎつね」の作者、新美南吉の出身地。この本に出てくる“彼岸花が赤い布のように咲いている”様子を再現しようと、川の堤防に彼岸花を植えるボランティアをしていた。ブフィエが不毛の地に黙々と木を植えていったように、祖父たちも荒れた土地を整備し、一つ一つ手作業で球根を植えていった。九月下旬になると、三百万本を超える真っ赤な花で堤防が埋め尽くされる。その光景はあっと息を飲むほど美しい。彼岸花が一面に咲く様子をただながめ、満足そうな笑みを浮かべていた祖父の姿を今も忘れることはできない。ブフィエは戦争の中にあっても、木を植え続けた。なぜ植え続けたのだろうか。ブフィエにも祖父にも、静かだけれど決して屈することない精神、強い信念を感じた。

亡くなる前に、歩くこともつらくなっていた祖父に誘われて出かけた場所がある。そこには菜の花が咲いていた。祖父は何も語らなかった。でも、今なら祖父があの時伝えたかったことが分かる。ブフィエのようにたった一人でも、強い信念さえあれば大きなことを成しとげられる。祖父とこの本から教えられた想いを胸に刻んで私は生きていきたい。



令和2年(2020) 4月

No.83

発行/特定非営利活動法人 りんりん
半田市岩滑高山町5丁目4番地
TEL(0569)21-3646 FAX(0569)32-6623
http://rinrin.or.jp E-mail npo@rinrin.or.jp

ありがとうございます

皆さまのあたたかいご支援が
りんりんを支えています。

ご寄付ありがとうございます

榊原 照子 杉本登喜江 野澤重規子
松本 勉 村上 光男 (敬称略)

りんりんのできごと

りんごクラブ

- 1月 お抹茶教室・書初め
- 2月 駄菓子屋・お抹茶教室
- 3月 お抹茶教室・駄菓子屋・権現山遠足・大掃除



りんごびあであそぼ

- 1月 みんなであそぼ 8名
- 2月 白玉フルーツづくり 11名

やなべっこ食堂

- 1月 お助け隊と炊き出し・豚汁・おにぎり 21名
- 2月 カップケーキ寿司・けんちん汁・みかん 30名

～ ヘルパー研修会 ～

- 1月 ヘルパー交流会 67名
- 2月 障害福祉サービスとは 30名
- 3月 中止になりました

多世代交流事業

	1月	2月	3月
生き活きサロン	109名	92名	中止になりました
さをり織り	34名	18名	中止になりました
絵手紙	9名	18名	中止になりました

(R2/3月末現在)

会員数

賛助会員	利用会員	協力会員	合計
27名	119名	106名	252名

(R2/3月末現在)

特定非営利活動法人 りんりん



穏やかな春を待って

新型コロナウイルス感染症の影響で世の中は大きく混乱し、今年の春はいつもと違う様相です。2月23日に厚生労働省からの「社会福祉施設等における新型コロナウイルスへの対応の徹底について」をうけて、りんりんでも対策会議をもち、検討しました。その後3月2日からの小中高等学校の一斉休校のため、学童保育では長期間休みと同様に開所の要請を受けました。

現場では突然のことで、すぐに人員を補充できるわけもなく、普段と違う時期での長時間受け入れは、現場に負担がかかるのは目に見えています。感染拡大防止が目的のはずなのに、定員70名のところへ、日々60名近くの児童が来ています。学校より格段に狭いところでの学童保育が安全？と判断されたことに違和感をいただいたのは私だけでしょうか。その後、半田市内の福祉事業所で感染者が出て、より身近に危険を感じました。名古屋市では一部地域のデイサービスの閉鎖要請が出て、日々起きることへの対応策の検討に追われ、さらに情報の周知に職員も振り回されることになりました。

そんな中、りんごクラブの第1期生の少年が高校を卒業したことの報告に来てくれました。身体はもとより大人びた立居振舞に、彼の成長を感じました。なによりも、卒業してもりんごクラブを気にかけてくれていたことをとても嬉しく思い、心が温かくなりました。

新型コロナウイルス感染症の終息については、時間がかかりそうですが、この会報がお手元に届くころにはいつもの明るい春になるようにと願っています。



理事長 渡邊 千恵

ある日の りんりんデイサービスセンター



皆さんで、かるたを楽しみました。明るい声が弾んでいました。

6年生卒業りんごクラブの思い出

★盛岡 琉生さん

6年間ありがとうございました。6年間で一番楽しかったのは、夏休み中の遠足で行った名古屋港水族館です。みんなで見たイルカショーが心に残っています。

★小島 快斗さん

ぼくが一番楽しかった思い出は、夏休みにりんごクラブのみんなでゲームをしたことです。大勢で一緒に遊ぶことはとても楽しかったです。

★松尾 湊さん

ぼくがりんりん思い出に残っていることは、外遊びです。理由は、りんりん外で遊んでいなかったら、外遊びの喜びに気づくことは出来なかったからです。

★田中 海志さん

自分より小さな年の子どもたちと遊べて、6年間とても楽しくて、いい思い出になりました。

★友田 真尋さん

一番楽しかったことは、3月25日の運動会です。ぼくは、スタッフをやりました。とても、大変でしたが、最後までやり切ってスッキリしました。リレーもとても楽しかったです。



手書きのスタッフ!

イオン“幸せの黄色いレシートキャンペーン”

2019年の“幸せの黄色いレシート”投函の合計金額が715,230円になりました。レシート合計金額の1%に相当する7,200円のイオンギフトカードがいただけることになりました。このギフトカードはりんごびあの備品などに交換させていただきます。

りんりん会員の皆様、イオンのお客様、“黄色いレシート”をたくさんご投函いただき本当にありがとうございました。

令和2年度会費納入のお願い

日頃よりりんりんの活動にご協力・ご支援いただきありがとうございます。つきましては、年会費の納入時期になりましたので、今年度も引き続き会員としてご支援ご協力いただきたく、ご案内申し上げます。よろしく願いいたします。

年会費 3,000円

～りんごクラブだより～

4月から、新1年生7名、新2・3年生各1名を迎え9名増えて総勢70名となりました。みんなで仲良く、楽しく過ごしましょうね!



新美南吉記念館にて



3/25運動会をしました

令和2年度総会のお知らせ(予定)

場所 りんりん1階ホール
日時 5月24日(日)10時～12時

賛助・協力会員の皆様、ご出席いただきますよう
よろしく願いいたします。

ろうきん東海NPO寄付システム ご寄付ありがとうございます

平成14年より東海労働金庫の「支援NPO団体」になり、毎月たくさんの方から寄付が寄せられています。平成31年4月から令和2年3月までのご寄付合計は50,400円となりました。ご寄付いただいた人数は延べ468人でした。温かいご支援ありがとうございました。

去年は、りんごびあの本棚を買わせていただき、今年はその本棚に入れる本を買うことができました。絵本、漫画、辞書などさまざまな種類の本を取り揃えました。子どもたちは、さっそくうれしそうに新しい本を手にとって喜んでいます。



令和2年3月 東海ろうきん
NPO寄付システム贈呈

(株)ローソン様 ありがとうございました!

「学童保育施設へのおにぎり無償配布」への応募で(株)ローソン様より、りんごクラブへおにぎり4種類140個が届けられました。自分たちで作った豚汁と一緒においしくいただきました。子どもたちはとてもうれしそうでした。



りんごクラブ

